

区民健診・がん検診の実施等について

区は、「杉並区肺がん検診外部検証等委員会答申」等を踏まえ、区と杉並区医師会で区民健診とがん検診の実施に向けて協議を重ねた結果、今年度の区民健診等については、以下のとおり実施することとなりました。併せて、区肺がん検診再読影者の最終結果について報告します。

1 区民健診・がん検診の実施内容について

(1) 実施期間

○区民健診

4月～9月生まれの方：令和元年7月16日～10月31日

10月～3月生まれの方：令和元年9月1日～令和2年2月29日

○がん検診

令和元年7月16日～令和2年2月29日

(2) 実施内容の主な変更点

① 区民健診と同時実施の胸部エックス線検査

- ・1名の医師が肺がん検診の判定基準等に準じて判定する。

② 区肺がん検診

- ・自院で二重読影する指定医療機関制度を廃止する。
- ・杉並区医師会の肺がん検診判定会においてすべて二次判定する。
- ・実施医療機関において結果説明を対面で行う。
- ・肺がん検診判定会で撮影画像の質等の評価・指導をする。
- ・精度管理研修会の参加を義務化し、読影に関する勉強会なども実施する。

③ 区胃がん検診胃内視鏡検査

- ・画像点検を実施するため実施医療機関に撮影画像の提出を義務化する。
- ・精度管理研修会の参加を義務化し、胃内視鏡手技に関する勉強会なども実施する。

④ 区大腸がん検診

- ・便潜血検査2日法 ラテックス凝集法による定量検査に統一する。

⑤ 精度管理

- ・医療機関ごとにごがん検診チェックリストやプロセス指標により実施状況を把握する。
- ・杉並区がん精度管理連絡会で実施状況の評価を行い、実施医療機関にフィードバックする。

2 区肺がん検診再読影者の最終結果について

河北健診クリニックにおける再読影の結果、9,424名（実人数）のうち44名が要精密検査者となった。令和元年5月16日に同クリニックより、肺がんの疑いで経過観察とされていた残り2名が肺がんではないことが報告された。これにより、44名中肺がんと診断された方が2名、肺がんではなかった方が42名で確定となった。